

安全データシート

改訂日: 2022年4月20日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称
会社名
住所
電話番号

チオシアン酸カリウム溶液
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
DB0066S

整理番号

別表1.当SDSの適用品名一覧
0.1mol/Lチオシアン酸カリウム溶液
10% チオシアン酸カリウム溶液
20% チオシアン酸カリウム溶液

2. 危険有害性の要約

別表2 各チオシアン酸カリウム溶液濃度とGHS分類及びラベル要素対照表

GHS分類及びラベル要素	チオシアン酸カリウム溶液 濃度(品名)	20%チオシアン酸カリウム溶液	10%チオシアン酸カリウム溶液	0.1mol/Lチオシアン酸カリウム溶液
健康に対する有害性	急性毒性: (経口) 特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分5 (UN)		
ラベル要素	絵表示又はシンボル			
	注意喚起語	危険		
	危険有害性情報 (コードのみ)	H303 H372	H372	
	注意書き ^(※1) (コードのみ)			
	【安全対策】	P260 P264 P270		
	【応急措置】 ^(※2)	P312 P314	P314	
	【保管】 ^(※2) 【廃棄】 ^(※2)	P501		

※1) 表中にて、危険有害性情報と注意書きはコードのみ記載しております。各コードに割り当てられた文言は、下記をご参照ください

※2) SDS及びラベル記載の危険有害性情報・注意書きについて、弊社の製品管理方法、弊社製品の化学的性質に基づき、GHSガイダンスに従い、コードの文言を省略又は変更する事があります。

危険有害性情報

飲み込むと有害のおそれ (H303)
長期にわたる又は反復ばく露による甲状腺の障害 (H372)

注意書き

【安全対策】
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後は手などをよく洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
【応急措置】
気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
気分が悪いときは、医師の診断／手当を受けること。(P314)
【保管】
容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名又は一般名
化学式
化学物質を特定できる一般的な番号

混合物
チオシアン酸カリウム水溶液
KSCN
CAS RN: 333-20-0

濃度又は濃度範囲

チオシアン酸カリウム水溶液 100% (①チオシアン酸カリウム、②水)

※各製品の含有量は、別表3.濃度表を参照

官報公示整理番号(化審法/安衛法)

(1)-152 / 公表

別表3. 濃度表

表示濃度(品名)	成分①	含有量 (重量%)	成分②	含有量 (重量%)
0.1mol/Lチオシアン酸カリウム溶液	チオシアン酸カリウム (CAS RN:333-20-0)	0.97	水 (CAS RN:7732-18-5)	99.03
10%チオシアン酸カリウム溶液		10		90
20%チオシアン酸カリウム溶液		20		80

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に

外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師の診断を受けること。

飲込んだ場合

口をすすぐこと。

直ちに医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

燃焼性はない。周辺火災に適した消火剤を用いる。

使ってはならない消火剤

該当情報なし。

特有の危険有害性

火災時に、刺激性あるいは有毒なフェームやガスを放出するおそれがあ

特有の消火方法

消火活動は風上から行う。

火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。不可能な場合は周辺に水

をかけ冷却する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避

させる。

環境に対する注意事項

河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、空容器等に回収する。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

全体換気装置、局所排気装置を設置する。

洗眼器と安全シャワーを設置する。

安全取扱注意事項

吸い込んだり、眼、皮膚および衣類に触れないように適切な保護具を着用

漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱い

をしない。

接触回避

熱、強酸、強酸化剤

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、換気のよい涼しい場所に密封して保管する。

容器包装材料

ポリエチレン

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

管理濃度

未設定

日本産業衛生学会

未設定

ACGIH

未設定

設備対策

取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

保護マスクを着用する。

手の保護具

ゴム手袋を着用する。

目の保護具

保護眼鏡やゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣、保護エプロン等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

無色の液体

臭い

無臭

融点・凝固点	該当情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	該当情報なし
可燃性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	不燃性
引火点	不燃性
自然発火温度	不燃性
分解温度	該当情報なし
pH	中性
動粘性率(粘度)	該当情報なし
溶解度	水と混和する。
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし
蒸気圧	該当情報なし
密度及び/又は相対密度	該当情報なし
相対ガス密度	該当情報なし
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	加熱すると分解し、非常に有毒なヒューム(イオウ化合物、窒素酸化物、シアン化物)を生じる。 強力な酸化剤と激しく反応する。
避けるべき条件	加熱
混触危険物質	強酸、強酸化剤
危険有害な分解生成物	非常に有毒なヒューム(イオウ化合物、窒素酸化物、シアン化物)
11. 有害性情報 [チオシアン酸カリウムの情報]	
急性毒性	経口：[チオシアン酸カリウムとして]ラットのLD ₅₀ 値 854 mg/kg (RTECS(2007)：元文献 Journal of the American Pharmaceutical Association, Scientific Edition, Volume 29,152(1940))に基づき、区分4とした。 水溶液は、ガイダンスに従い加算式(ATEmix=100 / ((濃度/ 854mg/kg))により分類した。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	該当情報なし。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	該当情報なし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし。
生殖細胞変異原性	該当情報なし。
発がん性	該当情報なし。
生殖毒性	該当情報なし。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	該当情報なし。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	[チオシアン酸カリウムとして]本物質のデータはないが、チオシアナートは甲状腺におけるヨウ素の取り込みを阻害し、甲状腺毒性を示すことが知られている(CICADs(J)61(2004)、ATSDR(2006))。また、チオシアナートはシアン化物の主要代謝物であり、シアン化物の職業ばく露により甲状腺機能障害および甲状腺腫が報告されている(CICADs(J)61(2004)、ATSDR(2006))ことから区分1(甲状腺)とした。 水溶液はガイダンスに従い、チオシアン酸カリウムが10%以上の製品は区分1、10%未満1%以上の製品は区分2とした。
誤えん有害性	該当情報なし。
12. 環境影響情報 [チオシアン酸カリウムの情報]	
生態毒性	短期：[チオシアン酸カリウムとして]魚類(ニジマス)の96時間LC ₅₀ = 52.5 mg/L (急性) (ECETOC TR91, 2003)から区分3とした。 水溶液は、ガイダンスに従い加算法(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3≥25%により分類した。(区分外) 長期：[チオシアン酸カリウムとして]急性毒性区分3であり、急速分解性がない(慢性)(BIOWIN)が、魚類(ファットヘッドミノー)の124日間NOEC(繁殖) = 1.1 mg/L (ECETOC TR91, 2003)であることから区分外とした。
残留性・分解性	該当情報なし
生体蓄積性	該当情報なし
土壤中の移動性	該当情報なし
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国際規制	
国連番号	—
品名(国連輸送名)	—

国連分類	—
容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。

国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	—

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)
毒物及び劇物取締法
消防法
労働安全衛生法

各濃度の該当は、別表4.法規制該当一覧表を参照してください。

指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物に該当しない。
危険物に該当しない。
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物〔チオシアン酸カリウム〕〔施行令別表9〕
(2025年(令和7年4月1日)以降)
危険性又は有害性を調査すべき物〔チオシアン酸カリウム〕
(2025年(令和7年4月1日)以降)

別表4. 法規制該当一覧

表示濃度 (品名)	含有量 (重量%)	労働安全衛生法	
		名称等を表示すべき有害物	名称等を通知すべき有害物
0.1mol/L チオシアン酸カリウム溶液	0.97	非該当	非該当
10% チオシアン酸カリウム溶液	10	該当	該当
20% チオシアン酸カリウム溶液	20	該当	該当

16. その他の情報

参考文献

NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)
16615の化学商品(化学工業日報社)
職場のあんぜんサイト(厚労省HP)
NITE-GHS分類結果(製品評価技術基盤機構HP)
国際化学物質安全性カード(国立医薬品食品衛生研究所HP)
The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。